

日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例の一部改正に係るパブリックコメントの実施結果について

昨年夏に発生した鳥取砂丘海岸での海難事故及び山陰海岸ジオパークの世界再認定を踏まえ、鳥取砂丘の国内外からの利用の増進に向けて基本理念や県の責務等を規定するとともに、遊泳を禁止行為に加えるなど、鳥取砂丘のイメージアップにつながるよう改正をすることとし、広く県民の意見を求めるため、パブリックコメント及び県政参画電子アンケートを実施した。

1 パブリックコメントについて

- (1) 実施期間 平成26年12月19日（金）から平成27年1月13日（火）まで
- (2) 意見件数 162件
回答方法 電子メール6件、電話1件、投書1件、県政参画電子アンケート意見154件
- (3) 応募のあった意見の概要
ア 改正条例案に関するもの

主な意見	対応方針
追加禁止行為の規定はより具体的なものとすべき。	内容をわかりやすく広報していく。
観光客の安心・安全を確保するため、追加禁止行為に賛成。	観光客の安心・安全を確保するために、禁止行為を追加する。
観光地の魅力が低下するため追加禁止行為に反対。	追加する禁止行為の広報、啓発活動に努める。
実効性を確保するため、追加禁止行為に対する罰則が必要。	罰則は適用しない形とし、追加禁止行為の広報に努める。
罰則よりも、禁止行為の啓発活動に力を入れるべき。	追加する禁止行為の広報、啓発活動に努める。
禁止行為追加後の状況を見極めた上で必要があれば罰則を検討すべき。	禁止行為追加後の状況を見極める。
外国人対応の看板を作る場合、英語表記だけで良い。	世界ジオパークにふさわしいものとなるよう、必要と判断される言語で表記する。
十分な広報、啓発活動が必要。	追加する禁止行為等の広報、啓発活動に努める。

イ 現行条例に関するもの

主な意見	対応方針
嘘、大袈裟、紛らわしいため、条例名の「日本一」を見直してはどうか。	条例名は適切なものだと考えている。
落書きは禁止しない方がいい。砂丘での楽しみが奪われている。	砂丘を訪れる多くの観光客の期待を裏切らないために景観の維持が必要。
条例の周知が必要。	引き続き、条例の広報、啓発活動に努める。

2 県政参画電子アンケートについて

- (1) 実施期間 平成26年12月25日（木）から平成27年1月12日（月）まで
- (2) 対象者 県政参画電子アンケート会員
- (3) 回答者数 389名／489名中（回答率 79.6%）
- (4) 内 容

(単位：件)

項目		回 答		
遊 泳	禁 止	賛成 313 (80.5%)	反対 11 (2.8%)	どちらとも言えない 64 (16.5%)
	罰 則	必要 130 (33.4%)	反対 127 (32.6%)	どちらとも言えない 66 (17%)
パラグライダー等の危険な飛行	禁 止	賛成 293 (75.3%)	反対 25 (6.4%)	どちらとも言えない 71 (18.3%)
	罰 則	必要 184 (47.3%)	反対 71 (18.3%)	どちらとも言えない 53 (13.6%)

※比率は全回答者数（389名）に対するもの。

3 スケジュール

平成27年2月12日 2月定例会へ条例案付議
平成27年4月 1日 施行